



簡易生命保險事業論(2)

村上, 隆吉

(Citation)

經濟學商業學國民經濟雜誌, 4(2):197-221

(Issue Date)

1908-02

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/00051227>



簡易生命保險事業論 (其二)

法學士 村上隆吉

第八章 外國ニ於ケル簡易生命保險事業ノ發展

事業ノ發展

簡易保險事業ハ僅ニ三四十年前ヨリ開始セラレ殊ニ其著シク發達シタルハ最近十年間ナルニモ拘ラズ其發展ノ程度頗ル顯著ナルモノアリ然シテ簡易保險事業ハ英米獨ノ如キ工業最モ進歩シテ國運ノ駸々タル國ニ於テ最モ其效果ヲ發揮シ居ルヲ見ル即チホフマン氏ガ第五回萬國會議ニ提出シタル統計ニ依レバ左ノ如シ

國名	會社數	千九百四年ニ於ケル契約件數	千九百四年ニ於ケル契約金額
米國	一七	一五、六七四、三八四	二、一三五、八五九、一三〇弗
英國	二〇	二二、八一〇、九三七	一、一三九、八一九、九八〇
獨逸	一四	五、〇二四、六六七	二一八、八二五、四六九
滿洲	六	三〇八、三二二	三二、一五三、二二八
加奈陀	五	二九六、五五〇	三四、七三四、〇七〇

其他

計

約一〇〇、〇〇〇
四五、二二四、六八〇

約四、〇〇〇、〇〇〇
三、五六五、三九一、八五〇

即チ之レニ依リテ外國ニ於ケル簡易保險事業ガ如何ニ盛大ナルカヲ知ルト共ニ英米獨ノ三國ガ世界ニ於ケル簡易保險事業ノ始シテ全部ヲ占ムルヲ見ルヘク從テ此三國ノ世界ニ於ケル商工業上ノ地位トヲ對照シテ想像セバ其偶然ノ結果ニアラザルヲ推スルニ足ルヘシ

今英米獨ニ於ケル簡易保險事業ノ狀況ヲ示サン爲メ千九百三年及千九百四年ノ契約額ヲ拔萃シ其事業ノ大ナルヲ示スト共ニ其一年間ノ發達ノ著シキヲ表ハサバ即チ左表ノ如シ

國名	千九百〇三年	千九百〇四年	一年間増加割合
英國	件數 二一、二一六、五〇六 金額 二〇七、五四九、八二一(磅)	件數 二二、五一八、〇四六 金額 二二一、一四〇、三〇九(磅)	〇〇六一 〇〇六五
米國	件數 一、四六三、六三六 金額 一、九七九、七三三、九五二(弗)	件數 一、五、六六八、〇七〇 金額 二、一三四、九二二、四七九(弗)	〇〇七一 〇〇七九
獨逸	件數 四、二九八、五七〇 金額 七五二、八二四、〇〇〇(馬)	件數 四、七五八、一八〇 金額 八三三、一八九、〇〇〇(馬)	一一二三 一一〇七

更ニ英米獨三國ニ於ケル簡易保險事業ノ勢力ノ一班ヲ想像スルガ爲メ千九百四年一ケ年間ニ於テ此事業ニ投セラレタル保險料ヲ示セバ左ノ如シ

英國	一一、〇九三、二六八磅
米國	一一〇、一三五、〇〇〇弗

獨逸

六四、九七四、〇〇〇馬

又米國ニ於テ工業保險事業ノ開始以來其契約總額ガ如何ニ迅速ニ増加シツツアルカラ即チ左表ニ依リ之ヲ知ルコトヲ得ヘシ

會社ノ數

件數

一八七六年	一	四、八一六	四四三、〇七二〇弗
一八八〇年	三	二二八、三五七	一九、五九〇、七八〇
一八九〇年	九	三八七五、一〇二	四二八、〇三七、二四五
一九〇〇年	一八	一一、二一五、五三一	一、四六八、四七四、五三四
一九〇四年	一七	一五、六〇八、〇七〇	二、一三四、九二二、四七九

次ニ獨逸ニ於ケル發展ノ狀況ヲ示サンガ爲メニ人民保險中定額保險ノ毎年ノ新契約高ヲ比較スレバ即チ左表ノ如シ

件數

金額

一八九〇年	九六、九三七	一九、三三二、三二九
一九〇〇年	六七二、六二二	一二九、九九八、六九一
一九〇四年	七九六、九九〇	一六二、六九八、四五九

以上示ス所ニ依ルモ世界ニ冠タル商工業國ニ於テ如何ニ簡易保險事業ガ遽ニ發展シ其進歩顯著ナルヲ知ルニ足ルヘク又之レ等ノ事實ハ簡易保險事業ガ現時ノ社會組織上如何ニ之ヲ必要トスル

カ且其效果ガ如何ニ偉大ナルカヲ反映スルモノト云フヲ得ヘシ

第九章 外國ニ於ケル簡易生命保險

事業ノ集中

生命保險事業ハ其性質上大組織ノ經營ヲ必要トスルコト最モ明確ナル事實ナリ蓋シ生命保險事業ハ多數ノ人ニ對シ長期ニ亘リ巨額ノ責任ヲ負擔スルモノナレバ永久的存在ニ適スルモノナラザルヘカラス何レノ國ニアリテモ相互會社ヲ除クノ外保險事業ヲ營ミ得ルモノハ之ヲ株式會社ニ限リタルハ此理由ニ基クモノナリ又保險ノ性質ハ危險ヲ數多ニ分配スルニアルヲ以テ多數ノ人ヲ目的トスルニアラザレバ事業ノ成功ヲ期スル能ザルコト勿論ナリ故ニ生命保險事業ハ長キ時廣キ場所並ニ多クノ人ニ對シテ之ヲ經營セザルヘカラザルハ事業ノ性質上ノ當然ノ結果ナリ然シテ簡易生命保險事業ニ於テハ一層此必要アリ何トナレバ簡易保險ニアリテハ特ニ小額ナル保險料ニ對シ煩雜ナル事務ヲ行フモノナレバ多數ノ顧客アルニアラザレバ營業ヲ支持スル能ハズ又危險率モ普通通保險ニ於ケルヨリ大ナルヲ以テ一層多數ノ被保險者ヲ得ルニアラザレバ危險ノ平準ヲ期スル能ハザレバナリ之レ等ノ事情ハ一般生命保險事業ノ性質ヲ知り且ツ簡易保險事業ノ性質ト其ノ弱點ヲ詳ニスルモノハ何人モ之レヲ疑ハザルヘシ故ニ理論ヨリ云フモ簡易生命保險事業ハ多數ノ小事

業者分立相競争シテ成功ヲ期シ得ルモノニアラズ確實ナル大事業者ガ大規模ノ組織ヲ以テ之レヲ經營スルニ依リテ其効果ノ完全ヲ期シ得ヘキモノナルコト明ナリ加之英米獨ノ實例ニ依レバ事實ニ於テモ簡易保險事業ハ二三ノ大會社ノ掌中ニ集中シ居ルヲ見ル

今英米獨ニ於ケル千九百四年ノ簡易保險契約總額ト其重ナル會社即チ英國ニアリテハ收入保險料百萬磅以上米國ニアリテハ同百萬弗以上獨逸ニアリテハ同百萬馬克以上ノ會社ガ有スル契約額トヲ對照スルニ左ノ如シ

工業保險契約總額		會社數	件數	金額
英國	收入保險料年額	會社名	件數	
	百萬磅以上ノ會社ノ契約高	ブルータンシマル	二四、六六八、五三二	二四一、八六九、六四九磅
		レフユージ	一五、五七七、一六一	一五四、九四二、一八一磅
		ヒーマル	二、六二八、六一七	二四、四三九、二四〇
計			二、三二〇、四六三	二一、二五五、七九三
			二〇、五二六、二四一	二〇〇、六三七、二一四

此表ニ依リ見レバ英國ニ於テ工業保險ヲ營ム十九會社ノ有スル契約高ハ大體ブルータンシマル以下ノ三會社ニ集中セラレオルヲ見ル即チ十九會社ノ總契約高ニ對シ三會社ガ有スル契約高ヲ比較スルニ三會社ハ契約件數ニ於テ百分ノ八十三、三契約金額ニ於テ百分ノ七十三、九ヲ有スル又プル

デシマル會社ノミノ契約高ト十九會社總契約高ヲ比較スルニ同社會ハ契約件數ニ於テ百分ノ六十三、一契約金額ニ於テ百分ノ六十四、一ヲ有スルヲ見ル

米國		工業保險契約總額	
收入保險料 百萬弗以上 ノ會社ノ契 約高		會社數	件數
計		會社名	金額
約高	一五、三二七、六二八	メトロポリタン	一、一二七、八八九
		ブルデンシマル	六七五、九九二
		ジョンハンコグ	二二三、〇七〇
		ガーアジニア	三七、七一
		カエスメンセント	二四、六〇〇
		サウサアン	二、〇九九、二六二
		計	二、〇九四、九二二

此表ニ依リ米國ニ於ケル工業保險會社十七カ有スル總額約高トメトロポリタン以下ノ五會社ノ契約高ヲ比較スルニ五會社ハ總契約中契約件數ニ於テ百分ノ九十七、六約契金額ニ於テ百分ノ九十八、三ヲ有スルヲ見ル又メトロポリタン及ブルデンシマル二會社ガ有スル契約高ト十七會社ノ總額ヲ比較スルニ二會社ハ總契約高中契約件數ニ於テ百分ノ八十四、五契約金額ニ於テ百分ノ八十四、九ヲ有スルヲ見ルベク即チ米國ニ於ケル工業保險契約高ノ約八割五分ハメトロポリメン及アルデンシアル二會社ニ集中シ居ルヲ見ル

ノ經營ニ適セズ大組織ヲ以テスルニアラザレバ成效シ難キノ事實ヲ明ニ反映スルモノト云フベシ然カモ獨逸ニ於ケル人民保險改良建議案ガ今日ヨリ尙ホ一層競争ヲ避ケテ事業ノ集中ノ必要アルヲ叫ビツツアルヲ思ヘバ我邦ノ普通生命保險事業ノ狀況ニ照シ將來ノ簡易保險事業ニ對スル施設ニ關シ一種ノ感想ヲ惹起セズンバアラザルナリ蓋シ理論ト實際ノ一致ガ斯ノ如ク顯著ナルノ事實ハ稀ニ見ル所ナレバナリ

第十章 外國ニ於ケル簡易生命保險事業ノ組織

事業ノ組織

今日外國ニ於テ行ハレツツアル簡易生命保險事業ノ組織ヲ見ルニ營利ヲ目的トシテ私立會社ガ之レヲ營業スルモノアリ公益ヲ目的トシテ國家ガ之レヲ經營スルモノアリ又國家自ラ之レヲ營業ザルモ公共團體其他之レニ準スベキモノガ之レヲ施設シ若クハ補助シツツアルモノアリ但シ此事業ヲ以テ國家ノ收入ノ財源ニ供シ居ルノ實例ハ未ダ之レヲ知ラザルナリ

私立會社 世界ニ於ケル簡易生命保險事業ノ大部分ハ私立會社ノ營業ニ屬ス此等ノ私立會社ハ亦同時ニ普通生命保險ヲ營業ノ目的ト爲セル株式會社若クハ相互會社ナリ今英米獨ノ重ナル簡易保險會社ガ同時ニ普通生命保險事業ヲ營ミツツアル狀況ヲ示サン爲メ千九百四年ニ於ケル

兩種ノ保險契約高ヲ比較スルニ即チ左表ノ如シ

國名	會社名	件數	金額
英	プルデンシマル	(普通) 一五、七四二、一四六	八二、六三七、七六一磅
		(工業) 一五、七七七、一六一	一五四、九四二、一八一
米	メトロポリタン	(普通) 七、六一五、一七七	三、四二、五三五、〇五二弗
		(工業) 七、六二四、七二九	一、二七、八八九、二二九
	プルデンシマル	(普通) 三、二四、三三三	三八〇、七四〇、七六九弗
		(工業) 五、六四二、三三五	六七五、九九二、二三九
獨	ヴァイクトリア	(普通) 一、四四、五九八	七〇三、五一七、〇〇〇馬
		(人民) 二、五四八、三四六	四九〇、一六七、〇〇〇馬
	フリードリヒ ウイルヘルム	(普通) 一、七〇九、三七八	一二六、五〇〇、〇〇〇馬
		(人民) 一、七〇九、三七八	二四七、七五二、〇〇〇馬

更ニ普通保險契約百ニ對スル簡易保險契約ノ割合ハ左ノ如シ

國名	會社名	件數	金額
英	プルデンシマル	二、〇九九	一八八
米	メトロポリタン	一、八三四	三二九
	プルデンシアル	一、七四〇	一五一
獨	ヴァイクトリア	一、七六三	七〇
	フリードリヒ ウキルヘルム	三、六九〇	一九六

即チ之レニ依テ簡易保險ガ普通保險ヲ目的トスル私立會社ノ兼營ハカカル狀況ノ一班ヲ知り得
ベシ然シテ私立會社組織ニ付テハ本論ニ於テ故ラニ之レヲ論及スルノ必要ナカルベシ

二、官業組織 簡易保險ヲ官業組織ニ依リ經營シ居ルモノハ亦二種ニ分ツコトヲ得ベシ一ハ私立會社ト同ジ方法ニ依リ政府ガ經營セルモノ一ハ全然救恤ノ目的ヲ以テ政府ガ經營セルモノナリ然シテ前者ハ英國及瑞西ニ行ハルルモノニシテ后者ハ新西蘭等ニ行ハルルモノ是ナリ

イ 英國ニ於テハ郵便事業ノ副業トシテ簡易保險ガ經營セラルルヲ見ル此制度ハ蓋シグラツドストン氏ノ創設ニ係ルモノニシテ其動機ハ千八百五十三年英國議會ノ討議ニ於テ英國生命保險事業ノ狀況ニ關シ種種不都合ナル事實ノ暴露セラレタルニアリ然シテ其計畫ハ千八百五十一年ニ至リテ實施セラレ英國郵便貯金局ハ私營工業保險ト同一主旨ニ基ク方法ニヨリ簡易保險ヲ營ムニ至レリ然レトモ爾後其發達著シカラス私立會社ノ工業保險ニ比シ甚ダ不十分ナリ然シテ其十分ノ成效ヲ得サル原因ニ付テハ種々研究セラレタル結果主トシテ其理由ハ代理店及集金人ノ制度ノ全然欠缺シタルニアリト認メラレタリト云フ

ロ 瑞西ニ於テ簡易保險ニ關シ一種ノ官業組織アリ即チベルン於ケル瑞西國郵便局及鐵道局ガ國內ノ當該局員ニ限リ實施シ居ルモノニシテ私營保險ノ場合ト大體ニ於テ同一ナリト云フ然シテ此組織ニアリテハ保險料ノ支拂且ツ其集金ヲ容易ナラシメンガ爲メ保險料ニ代フルニ郵便切手ヲ以テスルコトヲ許シ又保險事務局ハ聯合議會ノ要求アルトキハ全國ノ簡易保險ノ爲メ無償ニテ積立金保險証券及帳簿等ヲ聯邦ニ交付スルノ義務ヲ負ヒ且聯邦議會ハ常ニ之レヲ利用シ得ルノ權利ヲ有スト云フ

ハ 新西蘭ニ於ケル千八百九十八年ノ法律ニ據ル制度ハ一種ノ救恤制度ニシテ保險ニアラズトノ議論モアリ得ベシ然レドモ保險ノ意義ヲ廣義ニ解釋スレバ一種ノ簡易保險ナリト云ヒ得ヘキガ如シ即チ新西蘭ニ於テ廿五年以上繼續シテ一定ノ住所ヲ有シ四年以上ノ旅行ヲナスコトナク財産二百七十弗以下ニシテ收入五十二弗ヲ超過セサル等ノ要件ヲ具フルモノニアリテハ政府ヨリ一ケ年十八弗ノ養老金ヲ附與スルノ制度ナリ今其詳細ヲ知ルチ得スト雖下抹及ニユウサウスウエールズ等ニモ此種ノ制度アリト云フ

三、其他ノ制度 簡易保險事業ノ組織ニ關シ注意スベキ制度ハ獨逸ノウイルヘルム皇帝救恤資金及ビ瑞西ノサント、ガルレンニ行ハル、モノ是レナリ

イ獨逸ニ於テハウイルヘルム皇帝危難救濟紀念トシテ在伯林ウイルヘルム皇帝救恤資金ナルモノ千八百七十八年ニ於テ設ラレタリ即チ之レニ依リ一種ノ簡易保險事業ヲ營ムモノニシテ五馬克ヲ以テ一年ノ保險料ト定メ年金千馬克ヲ以テ保險金額ノ最高限ト爲シ勞働不能ノ場合ノ外五十五歳以上ニ達スルニアラサレハ保險金ノ支拂ヲ開始セサルモノナリ然シテ此度ノ特殊ナル利益ハ其營業費ガ被保險者ノ負擔ニ歸セズシテ其基本金ノ利息ニ依リテ支拂ハルルニアルナリ

ロ瑞西ノサント、ガルレンニ於テハ其町村ノ人民ガ簡易保險ニ加入シタル場合ニ於テ其保險料ノ一部ヲ保險契約者ニ代リテ町村ガ之レヲ負擔スルノ制度アリ然シテ保險契約者ガ其自ラ支拂ヒタル保險料ニ對スル保險金額ニ付テハ自由ニ之レヲ處分シ得レドモ町村ガ増拂シ若クハ補助シタル部分ニ對スル保險金ニ付テハ其自由ニ歸セズ却テ其權利ハ町村ニ歸屬ス又保險契約者ガ保險料ノ支拂ヲ怠リタル爲メ解約セラルルガ如キ場合ニアリテハ町村ハ代テ其保險料ヲ支拂ヒ得ルモノトセリト云フ

斯ノ如ク簡易保險事業組織ニ付テハ私立會社組織アリ官業組織アリ又其他ノ變態モアリ一率ニ其組織ヲ一定シ得ベキモノニアラズ各其國ノ事情ニ應ジテ適當ナル施設ヲナサザルベカラザルハ勿論ナリ

第十一章 外國ニ於ケル簡易生命保險ニ關スル法令

簡易生命保險ハ最近ニ發達シタルモノニシテ之レガ爲メ特ニ制定セラレタル法令甚ダ少シ又簡

易生命保險ハ普通生命保險ノ一種ナルガ故ニ一般生命保險ニ對スル規定以外ニ特ニ簡易生命保險ニ對シテ規定ヲ設ケラレタルモノ亦少シ唯本論原稿ニ當リ調査シ得タル二三ノ立法例ヲ列舉セン
トス

一、英國ニアリテハ工業保險ニ關シ三ノ法律アルヲ見ル千八百七十年生命保險會社條例千八百九十六年「フレンドリー、ソサイエチー條例」及千八百九十六年「コレンチング、ソサイエチー」及工業保險條例是レナリ

千八百七十年生命保險會社條例ハ總テノ保險會社ニ對テ其効力ヲ有スルモノニテ工業保險會社モ亦此條例ノ適用ヲ受ク即チ會社ハ一定ノ形式ニ依リ商務省ニ提出スベキ事業年度報告ヲ作成スルコトヲ要ス然シテ商務省ハ會社ノ財産狀況及諸種ノ計算ヲ公表スル爲メ會社ノ報告ヲ公刊スルナリ又千八百九十六年「フレンドリー、ソサイエチー條例」ハ主トシテ工業保險中小兒ノ死亡保險ニ關シテ規定シタルモノナリ

千八百九十六年八月七日ニ發布セラレタル「コレンチング、ソサイエチー及工業保險會社ニ關スル條例」ハ工業保險ノ性質上ノ弱點ニ對シ適當ナル數種ノ規定ヲ含ム即チ第一條ニ於テハ二十磅以下ノ保險金額ヲ契約シタル工業保險ニアリテ保險料ヲ支拂フ可モノノ住所ガ會社ノ本

店所在地ヨリ十哩以上ノ距離ヲ有スルトキハ集金人ヲ派シテ保險料ヲ領收スルコトヲ要スト爲シ且ツ其集金ノ時期ハ二ヶ月以上ヲ隔ツルコトヲ得ズト爲セリ是レ即チ第五章「簡易生命保險ノ普通生命保險ニ對スル比較」中保險料支拂ノ方法ニ關シ述ベタル所ニ照シ簡易保險事業ノ性質適當ナル規定ナリト云サルベカラズ又第二條ニ於テハ保險料不拂ノ爲メ契約ヲ失効セシメントスル場合ニアリテハ先ヅ被保險者ニ對シ其支拂フベキ金額ヲ記載シ且ツ被保險者ガ一定ノ期間内(十四日以上)ニ於テ會社ノ指定シタル場所ニ之レヲ支拂フニアラザレバ契約ハ其効力ヲ失フベキ旨ヲ備告シタル通知書ヲ發スルコトヲ要シ其通知アリタルニモ拘ラズ尙ホ延滞金額ガ支拂ハレザル場合ニアラザレバ保險料不拂ノ爲メニ契約ヲ失効セシムルコトヲ得ズト爲シ更ニ第十六條ニ於テ通知ハ書面ヲ以テ直接送達スルカ若クハ郵便ニ付スルコトヲ要ス等ノ規定ヲ爲シタリ即チ是レ第七章「簡易生命保險事業ハ性質上ノ弱點」中失効契約ニ關シテ述ベタル弊害ヲナスベク防遏セントスル主旨ニ出ヅルモノナリ其他第十七條ニ於テ第一條ニ所謂集金人ノ意義ヲ定メ第八條ニ於テ集金人ノ兼業ヲ制限シ更ニ第十四條ニ於テ集金人ニ對スル罰則ヲ定メタル工業保險ニ於テ其性質上必要ナル集金人ニ關シ比較的詳細ナル規定ヲ設ケタルヲ見ル

二、米國ニ於ケル各州ノ法律中工業保險ニ關シ特殊ノ規定ヲ爲シタル者甚ダ少キガ如シ紐育州改

正法律ニ於テモ一二附加保険料等ニ關シ普通保險ニ對スル例外的規定ヲ設ケタルモノアルノミナルガ如唯シマサチユセツツ州千八百九十五年ノ法律ニ依レバ其州法ニ依リテ成立シ若クハ其州内ニ於テ營業スル生命保險會社ハ生命ニ關スル契約ヲ締結セントスルトキハ被保險者ノ身體ニ付免許ヲ受ケタル醫師ノ醫的診査ヲ行ハザルベカラズ保險會社其役員若クハ代理人等ガ此規定ニ違反シタルトキハ會社ハ一事件毎ニ五弗乃至百弗ノ罰金ヲ科セラルベシト爲シタリ此規定ハ一般生命保險會社ニ對スル規定ナレドモ工業保險會社ニ對シテ除外的規定ヲ設ケズ同ジク其適用ヲ見ルモノノ如シ今此研究ニ於テ法文上此以上ノ根據ヲ得ル能ハザレドモ獨逸ノマーチス氏ハ其著「フエアジツヘルングスウエーゼン」ニ於テ工業保險會社ニ對シテモ適用アルモノナリト斷言セルヲ見ル兎ニ角工業保險ハ無診査保險ナリト一般ニ稱セラルルニ對シテ著シキ例外ナリト雖亦第七章「簡易保險事業ノ性質上ノ弱點」中死亡ノ高率ニ關シ述ベタルガ如ク米國ニ於ケル工業保險ノ死亡率ノ特ニ高率ナルヲ思ヘバ此規定モ決シテ偶然ノ結果ニアラザルベキナリ我邦ニ於ケル普通生命保險ガ醫的診査ノ粗畧ナル事實ト對照シテ頗ル研究ノ價值アルモノト云ベシ

三、獨逸ニアリテハ人民保險ニ關シ特別ノ規定ヲ有スル法文甚ダ少キガ如シ保險契約法草案議會

案ニアリテハ其大體ノ主旨トシテ人民保險勞働保險及死亡金庫等其他小額生命保險ハ其種類モ多ク其體様モ不確定ナルモノ少カラズ故ニ普通生命保險ニ關スル規定ヲ悉ク之レ等ニ適用スル能ハズ又之等ノミニ對スル特別規定ヲ制定スルモ亦困難ナル事情アリト爲シ從テ草案中普通生命保險ニ關スル強行的規定ニ付テモ之レ等ノ小額保險ニアリテハ主務官廳ノ認可ヲ經テ別段ノ方法ヲ採ル事ヲ許シ得ルモノアルヲ認メタリ即チ草案第百八十六條ニ於テ人民保險ニ關シ草案第三十八條第三十九條第四十二條及第百七十條乃至第百七十五條ニ對スル特別ノ規定ヲ設ケタリ然シテ草案ハ一般ノ保險ニ對シ第三十八條ニ於テ保險期間ノ開始以前若クハ其際ニ於テ支拂ハルベキ保險料ガ適當ノ時期ニ於テ支拂ハレザリシトキハ其支拂前保險事故ガ發生スルモ保險者ハ其責任ヲ免ル又保險料ガ適當ノ時期ニ支拂レザリシトキハ一ヶ月ノ猶豫期間ヲ與ヘテ保險關係ヲ解除スルコトヲ得但シ猶豫期間滿了以前ニ其支拂アリタルトキハ之レヲ解除スルコトヲ得ズト爲シ第三十九條ニアリテハ保險期間開始後支拂ハルヘキ保險料ガ正當ノ時期ニ支拂ハレザリシトキハ保險者ハ保險契約者ニ對シ其費用ヲ以テ支拂期間ヲ指定スルコトヲ得然シテ保險事故ガ發生スルモ其期間ガ經過シタル後ニシテ且ツ其發生ノ時マデニ保險契約者ガ保險料其延滞利息並ニ費用ヲ支拂サリシ場合ニ於テハ保險者ハ其責任ヲ免ル其期間ガ經過シ尙ホ保險契

約者ガ其支拂ヲ遲滯シオル場合ニ於テハ保險者ハ直チニ保險關係ヲ解除スルコトヲ得然シテ支拂期間及其經過ノ結果ニ付テハ書面ヲ以テ之レヲ表示シ置クコトヲ必要トシ且ツ其期間ハ二週間以下ナルコトヲ得ズ云々等ノ規定ヲナシ更ニ第四十二條ニ於テ第三十七條及第三十八條ノ規定ニ關シ保險契約者ニ對シ不利益ナル規定ヲ設クルモ保險者ハ之レヲ主張スルコトヲ得ズト爲セリ又生命保險ニ於テ保險契約ガ三ヶ年以上繼續シ其間保險料ガ完全ニ支拂ハレタル場合ニ關スル規定ヲ設ク即チ第七十一條ニ於テ保險者ハ保險年度ノ終ニ於テ其契約ニ對スル責任準備金ヲ拂濟證券ニ振替フルコトヲ許スベキ旨ヲ規定シ第七十二條ニ於テ保險者ハ第三十九條ニ依リ保險契約ヲ解除スルトキハ之レヲ拂濟證券ニ振替フベキ旨ヲ規定シ第七十三條ニ於テ死亡ニ關スル定額保險ニアリテハ買戻又ハ解除ニ依リ契約ガ消滅シタルトキハ責任準備ヲ返還スヘキ旨ヲ規定シ第七十四條ニ於テ前條ノ場合ニアリテ保險料ガ一時拂ナルトキハ三ヶ年ヲ經過セサルモ同一ノ主旨ニ據ルヘキ旨ヲ規定シ更ニ第七十五條ニ於テ以上ノ規定ニ關シ保險契約者ニ不利益ナル規定ヲ設クルモ保險者ハ之レヲ主張スル能ザル旨ヲ認メタル規定ヲ設ケタリ然シテ第八十六條ニ依リ前記ノ第三十八條第三十九條第四十二條並ニ第七十條乃至第七十五條ノ規定ニ關シテハ人民保險其他ノ小額保險ニ限リ主務官廳ノ認可ヲ得テ之レ等ノ規定ト

異ル約款ヲ使用スルコトヲ得ル旨ヲ明ニセリ獨逸ニアリテハ之レ等ヲ除キ人民保險ニ關シ別段ノ規定ヲ知ラザルナリ

然シテ此草案ガ稱フル如ク人民保險其他小額保險ニ關シテハ其體樣及其發達ノ程度ニ於テ普通生命保險ノ規定ヲ悉ク適用スル能ハズ又別ニ一個ノ特別法令ヲ發布スルコト困難ナリトノ主旨ハ獨逸ノ實情ニアリテハ至當ナルヘシ然レモ第百八十六條ノ規定ノ如キハ之レヲ人民保險ニモ適用スルニ於テハ各國ニアリテ簡易保險ノ弱點トシテ救済ニ焦慮シツツアル保險料不拂ニ因ル失効問題及失効ノ結果ノ救済トシテノ解約返戻金及拂済證券振替等ノ問題ニ關シテ却テ多數ノ學說ノ趨勢ト反對スル結果ヲ生ズヘキ者ニアラザルカ甚ダ疑ハザルヲ得ズ尙ホ此點ニ關シテハ第十二章「外國ニ於ケル簡易生命保險事業改良意見」ヲ參照セラレンコトヲ望ム

要スルニ簡易保險ハ最近ニ發達シタルモノナルガ故カ之レニ關スル特別法令若クハ特別規定ヲ多ク知ル能ハザルハ深ク遺憾トスル所ナリ固ヨリ論者ノ薄識ニ因ルコト多カルベケレバ尙ホ之レガ研究ニ努ムヘシト雖モ今爰ニハ之レヲ知り得タル所ヲ掲ゲテ參考ニ資セントスルノミ

第十二章

外國ニ於ケル簡易生命保險事業改良意見

簡易生命保險事業ハ重要ナル社會政策ノ實現ナリト雖モ其開始セラレタルハ最近ノ事實ニ屬スル故ニ未ダ十分ノ經驗ト研究アリタルモノト云フコト能ハズ從テ其改良ニ關シテモ種々ナル議論アリ又各國其事情ニ應シテ研究スヘキ問題少カラサルヘシ然レドモ今爰ニ知リ得タル各國ニ於ケル改良意見ヲ綜合スレバ大體二種ニ分ツコトヲ得ヘシ即チ一ハ現今ニ於ケル私營組織ノ下ニ於テ其事業方法ニ改良ヲ加ヘントスルモノニシテ他ノ一ハ更ニ進ンデ事業組織ニ改良ヲ加ヘテ現今私營ノ組織ニ於ケル欠點ヲ救済セントスルモノナリ然シテ其ニ簡易生命保險ノ性質上ノ弱點タル保險料ノ高價及ビ保險料不拂ニヨル契約ノ失効ニ關スルモノナリ

一 現今ノ私營組織ノ下ニアリテ之レニ改良ヲ加ヘ此事業ノ弱點ヲ救済セントスルモノハ米國及獨逸ニ於テ多ク主唱セラルルヲ見ルヲ見ル今其大畧ヲ述レバ左ノ如シ

イ 保險料ナナルベク低廉ナラシメ以テ下級人民ヲ顧客トスル簡易保險事業ノ效果ヲ多大ナラシメントスルハ多クノ學者ニ依リテ研究セラルル所ナリ然シテ前ニ「第七章簡易生命保險事業ノ性質上ノ弱點」ニモ述ベタル如ク簡易保險ニ於ケル死亡率ノ高クシテ從テ純保險料が普通保險ヨリ高價ナラザルベカラザル點ニ付テハ之ヲ救済スルコト甚ダ困難ナリ故ニ論者ノ多クハ營業費ヲ節約シ以テ營業費ノ爲メスル附加保險料ヲ減少シ之レニ依リテ營業保險料ノ減少ヲ期セントスルナリ然シテ簡易保險ニ於テ特ニ營業費ヲ多大ナラシムル原因ハ其契約ノ性質上保險料小額ニシテ契約件數多ク且ツ保險料集金ノ方法ヲ採ルガ爲メ諸種ノ計算及ビ記帳就中新契約及集金ニ關スル事務費ノ多大ナルニアリ從テ此點ニ關シテ論ズルモノ多シ即チ企業者勞動組合若クハ職業組合等ト連絡シテ團體契約ヲ爲シ以テ新契約費ヲ著シク減少セシメ或ハ保險料ヲ企業者若

□
クハ組合ヲ以テ便宜取經メシムル等ノ便法ヲ採リ又郵便局ト連絡シテ一定ノ用紙ニ郵便切手ヲ貼付セシメテ保險料ノ納入ニ代ヘシメ以テ保險料集金ノ冗費ヲ省カンコトヲ主張スルモノ等はレナリ
保險料不拂ニ因ル契約ノ失效ニ關スル意見ニ付テハ其發生ヲ豫防セントスルモノト發生シタル失效ノ弊害ヲ輕減セシメントスルモノトニアルヲ見ル

失效契約ノ發生ヲ豫防スルノ手段ハ失效豫告ノ方法及ビ保險料集金ノ方法はレナリ然シテ失效豫告ノ方法トハ保險契約者ガ保險料ノ支拂ヲ怠リタルガ爲メ其契約ノ効力ガ失ハレントスル場合ニ於テ先ツ保險者ヲシテ一定ノ期間ヲ定メテソノ期間ニ延滞保險料ヲ支拂フニ於テハ契約ハ有效ニ繼續スベク若シ空シク其期間ヲ經過スルトキハ契約ハ其效力ヲ失フベキ旨豫メ催告セシムルモノ是レナリ此手段ニ依ルトキハ保險契約者ガ繼續契約料ヲ餘裕アルニモ拘ラズ不識者クハ懈怠ニ依リテ契約ヲ失效セシメラントスル場合ニ於テ之ニ警戒ヲ與ヘ從テ失效契約ノ減少ヲ來サシムルノ效果アリ然シテ此ノ如キ事情ハ下級人民ニ最も多キコトナルガ故ニ此手段ハ保險契約者ノ側ヨリ見レバ甚ダ事情ニ適合シタルモノト云ザルベカラズ現ニ英國ノ如キ千八百九十六年八月七日付法律第三條ニ依レバ全然此主旨ヲ實行シタルコト前ニ「第十一章外國ニ於ケル簡易生命保險ニ關スル法令」ノ項ニ述ベタルガ如シ又同項ニ述ベタル如ク獨逸保險契約法案會議案第三十八條及第三十九條ニ於テモ亦同様ノ主旨ヲ普通保險ニ關シテ認メタリ然レドモ同草案ニアリテハ第百八十六條ノ規定ニ依リ之レ等ノ規定ハ簡易保險等ニ關シテハ主務官廳ノ認可ヲ得テ變更シ得ルコトヲ認メタリ且ツ獨逸保險學會ガ前記第三十八條及第三十九條ト同一ノ主旨ヲ認メタル政府案ニ付テ爲シタル批評ヲ見ルニ斯ノ如キ規定ハ通知ノ爲メニ必要ナル郵稅其他ノ事務費ヲ比較的多額ニ増加セシメ不要ニ保險料ヲ高價ナラシムルモノニシテ殆ンド簡易保險事業ノ實行ヲ不能ナラシムルモノナリト主張シ恰モ英法ノ規定ト正反對ニアルノ觀アリ即チ英法ノ規定ハ保險契約者ノ利益ノ爲メニ設ケラレタルモノニシテ獨逸保險學會ノ主張ハ保險業者ノ利便ノ爲メニ唱ヘラルル所ナルコト明ナリ今一概ニ其利害ヲ判斷スル能ハス唯獨逸學者ト雖モ簡易保險ノ弱點トシテ失效契約多大ノ弊ヲ救ハントスルノ議論ハレシス氏其他ノ諸説ニ於テ十分之レヲ認メ得ル所ナリ

又失效契約ノ増加ヲ防ガンガ爲メ保險料集金ノ方法ヲ探ルコトハ今日ニ於テ新シキ議論ニアラス簡易保險ノ顧客タル下級人民ニ對シテ普通保險ニ於ケル如ク保險料ノ持參拂ヲ望ムハザルコトハ其四圍ノ事情ニ於テ明ナリ英國ニ於ケル官營

簡易保險が私營保險ニ比シ著シキ失敗ヲ爲シタル原因ハ此保險料集金ノ方法欠缺ニアルコト今日ニ於テハ英國ニ於ケル識者ノ一般ニ認ムル所ナリ故ニ此方法ハ現今簡易保險ニ付テハ殆ンド例外ナク行ハルル所ニシテ故ヲ云フニ之レヲ論ズルノ必要ナカルベシ現ニ英國ノ千八百九十六年ノ法律ニ於テモ工業保險會社ハ其保險料領收ノ爲メ集金人ヲ差出スベキ義務ヲ有スルコト前ニ「第十一章外國ニ於ケル簡易生命保險ニ關スル法令」ノ項ニ述ベタルガ如シ

契約失効ノ幣害ヲ輕減セシムルノ手段トシテ多ク論ゼラルル所ハ契約ノ復活解約價格及拂込証券ノ振替ノ問題はレナ

失効契約ノ復活ハ普通保險ニ於テモ認メラルル所ナルト共ニ簡易保險ニ於テモ之レヲ認ムルモノ多ク又之レヲ認メテ以テ失効ニ依テ保險契約者ガ受クベキ損害ヲ回復セシムルコトノ必要ナルコト亦一般ニ主張セラルル所ナリスグリーンゲ氏ノ言ニ依レバ英國ニアリテハ失効契約ニ就テハ最後ノ保險料支拂ノ日ヨリ一ケ年ヲ經過セザル場合ニ在テ身體ニ異狀ナク且ツ延滞保險料ヲ支拂フトキハ別段ノ負擔ナクシテ支拂ヲ復活セシムルヲ常ト爲スガ如シ又ホフマン氏ガ米國プルテンシアル會社ニ就テ云フ所ニ依レバ保險料不拂ノ爲メ保險証券ガ失効シタル後尙ホ被保險者生存シ且ツ其健康佳良ナル時ハ何時ニテモ延滞保險料ノ支拂ニ依リテ契約ヲ復活セシム然シテ之レガ爲メ醫的再診査ノ費用若クハ擔券書換ノ手数料其他ノ負擔ヲ必要トスルコトナシブルデンシブル會社ノ經驗ニ依レバ千九百三年ニ於テハ失効契約中百分ノ十六半千九百四年ニ於テハ百分ノ十六ノ復活ヲ見タリト云ヘリ即チ保險契約者ノ懈怠若クハ實力薄弱ノ爲メ繼續保險料ヲ支拂ハズ爲ニ折角締シタル契約ヲ失効セシメ從來ノ辛苦ヲ殆ンド水泡ニ歸セシメントスルニ當リ比較的寛裕ノ方法ニ依リ別段ノ費用ヲ負擔セ結シムルコトナクシテ契約ノ復活ヲ認ムルコトハ失効契約多クハ弊ヲ救済スルニ効果アルモノニシテ亦下級人民ヲ目的トスル簡易保險事業ニ於テ最モ適當且ツ必要ナル手段ナリト云フベシ

保險料ノ不拂ニ因リ契約ガ失効シタル場合ニ於テ所謂解約返戻金ヲ與フルコトハ普通保險ニ於ケルト同ジク簡易保險ニ於テモ亦行ハルル所ニシテ之レニヨリテ失効契約ニ因ル損失ヲ幾分力輕減セシムルモノナリ即チ一般ニ三年若クハ五年ヲ經過シタル後ニアリテハ保險契約者ハ契約ノ失効ニ依リ全然其權利ヲ失フモノニアラズ責任準備金ノ百分ノ六十六乃至八十ヲ拂フヲ常トス然ドモ此方法ハ失効ノ結果ニ對シ多クノ効果ヲ有スルモノニアラズ簡易保險ニ於ケル契約ノ失効ハ前ニ「第七章簡易生命保險事業ノ性質上ノ弱點」中ニモ述ベタルガ如ク其大多數ハ契約後一年若クハ二年內ニ發生スルモノ

ニシテ此時期ニアリテハ未ダ責任準備金ノ積立ラレタルモノ殆ンド無ク保險契約者ニ返還スベキ金額殆ンド存セザレバナリ加之假令返戻金額ノ存在スル場合ニ於テモ一々其權利ヲ實行シテ保險者ニ對シ拂戻ヲ請求スルガ如キハ下級人民ニ適當セザルコトニシテ多クノ權利ハ空シク抛棄セラルルノ傾向ヲ有スルモノナリ故ニ解約返戻金ノ問題ニ關シテハ尙ホ十分ノ講究ヲ爲スベキ餘地ノ存スルモノナリ

契約失効ノ場合ニ於テ全然之レヲ消滅セシムルコトナク責任準備金ヲ振替ヘテ拂濟証券ヲ發行スルコトモ亦簡易保險ニ認メラルル所ニシテ大體ニ於テ普通保險ト同一原則ニ依ルヲ常トス即チ契約ガ三年以上繼續シテ失効シタル場合ニハ其契約ノ爲ニ積立タル責任準備金額ノ全部若クハ一部ヲ以テ一時拂保險料ニ計算シ之レニ對シテ拂濟保險証券ヲ發行シ之レニ依リ失効ノ弊ヲ輕減セントスルモノナリ然シテ簡易保險ニ於ケル失効契約ハ前項ニモ述ベタル如ク一年度若クハ二年度ニ於テ最も多キモノナレドモ此方法ハ三年以後ニアラザレバ實行スルコト困難ナルコト解約返戻金ノ場合ト同一ノ事情ニアルヲ以テ比較的其効果少シ然レドモ解約返戻金ノ制度ニ比シテハ著シキ效果アリ何トナレバ解約返戻金ニ付テハ下級人民ハ其權利ヲ實行セザル傾向多シト雖モ拂達証券發行ハ下級人民ニ對シ何等ノ手續ノ實行ヲ求メザレバナリ

然シテ獨逸保險契約法案議會案ハ前ニモ述ベタル如ク普通保險ニ關シテハ第七十條乃至第七十五條ノ規定ニ依リ生命保險契約三ヶ年以上繼續シタル場合ニ於テ保險者ノ請求アリタルトキ若クハ保險料不拂ニ因リ契約ガ失効シタルトキハ其契約ニ對スル責任準備金ヲ以テ拂濟保險証券ノ一時拂保險料ニ振替フベキ旨ヲ認メ又死亡保險ニ就テハ解約ニ因リ契約ガ消滅シタルトキハ其責任準備金ヲ返還スベキコトヲ定メ更ニ之レ等ノ規定ニ關シ保險契約者ニ不利益ナル約款ノ規定ヲ設クルモ其効力ヲ有セザルベキコトヲ規定セリ然ルニ簡易保險等小額保險ニ對シテハ附則第八十六條ニ於テ之レ等ノ規定ハ主務官廳ノ認可ヲ得テ相當ノ變更ヲ加フルコトヲ得ベキモノト定メタリ簡易保險ニ關シテハ何故ニ斯カル例外的規定ヲ設クル必要アルヤ又獨逸ノ主務官廳ハ簡易保險ニ關シ此等ノ規定ノ變更ヲ認ムベキヤ果タ幾許ノ程度マテ之レガ變更ヲ認ムベキヤ等ニ付テハ何等知ル能ハズト雖モ兎ニ角解約返戻金及拂濟証券振替ニ關シテハ普通保險ニ對スル前記ノ規定ガ寧ろ簡易保險ニ於テモ適 且ツ必要ナルルモノニアラザルカ

要スルニ簡易生命保險ヲ私營組織ニ於テ營ム場合ニ於テ改良意見種々アリト雖英米獨ノ各國ニ

共通ニシテ且ツ重ナル問題ハ簡易生命保險ノ性質上ノ弱點タル保險料ノ高價並ニ失効契約ノ多大ニ關シテ之レヲ救済セントスルモノニシテ前述シタル所ニ於テ其大略ヲ掲ゲタリト信ズ

二 現今ニ於ケル私營組織ニ改良ヲ加ヘ若クハ全然之レヲ變更シ以テ簡易生命保險事業ノ欠點ヲ救済セントスル意見ハ多ク獨逸ノ學者ニ唱導セラルルヲ見ル

イ 勞働者貯蓄生命保險說

此說ハドクトル、ヒソツエ氏ニ依リテ主張セラルルモノニシテスツトガルトニ於ケル普通獨逸保險組合ニ於テ實行サレタルモノナリ此說ニ依ル時ハ被保險者ハ其死亡若クハ一定年齡ノ到達ニ依リ一定金額ノ支拂ヲ受クルモノニアラズ又保險契約者モ一定ノ時期ニ於テ繼續シテ保險料ヲ支拂フベキ義務ヲ負擔セズ唯保險契約者ハ保險料ノ額其支拂ノ時期及度數等ニ關シ全ク任意ニ之レヲ拂込ムコトヲ得然シテ其拂込アリタル毎ニ保險技術ニ基キ之レニ對スル保險金額ヲ定メ之レヲ繰返ス毎ニ漸次ニ保險金額ヲ累積増加セシムルモノナリ是レ貯蓄生命保險ノ稱アル所以ニシテ論者ハ勞働組合ノ媒介ニ依リ多大ノ營業費ヲ節約セントスルモノナリ

此說對ニシテハ又種々ナル反對意見アリ勞働者ノ如キ下級人民ガ任意ニ支拂ヒ得ベキ一同ノ保險料額ハ極メテ僅少ナルモノニシテ從テ之レニ對スル保險金額モ甚ダ寡少ナラザルベカラズ故ニ假令勞働者ノ如キ生活程度ノ低キモノニアリテモ其必要ニ應ズベキ保險金額ヲ得シガ爲メニハ多クノ度數ニ於テ之ヲ繰リ反シ漸次保險金ヲ蓄積セザルベカラズ然シテ此方法ニ依ルトキハ一面ノ出資ハ其時ニ於ケル一時拂保險料トシテ保險金額ヲ計算スルモノナルガ故ニ勞働者ノ年齡ノ増加ト共ニ保險料ハ漸次ニ高價トナラザルベカラズ即チ保險契約者ハ最初ノ契約當時ノ保險料額ヲ支拂フノミニテハ足ラズ漸次遞増スベキ保險料ヲ豫想シテ自己ノ希望スル保險金額ニ達セシメントスル計畫ハ下級人民ニ於テ最も困難ナルコトナリ此點ニ於テ一般ノ簡易保險ニ於テ將來ノ保險料額ノ一定シ居ルニ比シ甚ダ不便ヲ感ゼザルヲ得ズ又此方法ニ於テハ保險金額ヲ漸次累積スベキモノナルガ故ニ被保險者若クハ保險金受取人ハ其受取ルベキ保險金額ヲ豫メ一定スル能ハズ從テ下級人民ガ遺族若シクハ老後ノ爲メノ計ヲ爲スニ於テ甚ダ不都合ナリ若シ保險契約者ガ遽カニ死去スルコトアラバ保險契約者ガ

豫期シ且ツ遺族ノ爲メ必要ナルベキ保險金額ヲ得ルコト能ハズシテ保險ノ效果ノ大部分ヲ失フベキヲ以テナリ又此方法ニ於テハ任意ノ時期ニ任意ノ金額ヲ支拂ハシメ且ツ任意ニ之レヲ繰返セシムルモノナルガ故ニ生命保險ノ一意義ナル強制貯蓄ノ效果ヲ全然失ハシムルモノナリ強制貯蓄ハ生命保險契約ニ伴フ結果ノ一ニ過ギズト雖モ人心ノ弱點ニ對シ頗ル効果ヲ有スルモノナリ況ンヤ節制ニ乏シキ下級人民ニ於テオヤ勿論此說ノ長所ハ保險料ノ不拂ニ依ル契約ノ失効ヲ全然防禦シ得ル點ニアリト雖亦同時ニ前記ノ如キ欠點ヲ有スルモノナリ故ニ貯蓄生命保險ハ勞働者ヲ目的トスルモノナルニモ拘ラズ下級人民ニ對シテハ其効果甚々少シト云ザルベカラズ

口貯蓄生命保險及普通人民保險聯合說

此說ハヒーターズ氏ノ稱フル所ニシテ前記ノ勞働者貯蓄生命保險ノ點ヲ補ハンガ爲メ貯蓄生命保險ト普通ノ人民保險トヲ聯合シテ一ノ組織ヲ立テントスルモノナリ此說ニ於テハ先ヅ被保險者ノ養老若クハ其遺族ノ生計ノ爲ニ相當ナル一定金額ヲ契約セシメ第一回ノ保險料ヲ拂込マシメタル後貯蓄切手ノ方法ニ依リ爾後任意ノ金額ヲ拂込マシメ之ヲ繼續保險料ニ充テタル後殘餘アルトキハ其後保險料延滞アリテ契約ガ失効セントスル場合ノ保險料ニ充テ若クハ其殘餘ニ相當スル保險金額ヲ増加セシメントスルモノナリ即チ保險契約者ニ餘裕アル時ニ於テ餘分ノ保險料ヲ拂込マシメオキ以テ保險契約者ニ餘裕乏シク保險料ノ支拂困難ニシテ契約ノ失効ヲ來サントスル場合ニ備ヘシメ之レニ依リテ一方ニハ契約ノ失効ヲ防ギ一方ニハ漸次ニ保險金額ヲ増加セシメントスルモノナリ然シテ根本タル契約保險ノ失効ニ對シテハ猶豫期間及復活ノ方法ニ依リテナルベク之ヲ回避セントスルモノナリ尙ホ此論者ガ此制度ノ特色トシテ主張スル所ハ此方法ニ依レバ下級人民ノ貯蓄心全部ヲ利用スルコトヲ得ルニアリト云フ蓋シ下級人民ガ多少ノ餘裕ヲ得タルトキハ一定ノ保險料ヲ支拂ヒタル後ハ其殘餘ハ之ヲ浪費シ易シ若シ此方法ニヨレバ其餘裕ヲ悉ク保險料ニ拂込マシメオクナ得ルノ利益アリト云フナリ

此說ハヒツツエ氏ノ勞働者貯蓄生命保險說ニ對シ確ニ一步ヲ進メタルモノナリ此方法ニ依レバ被保險者ノ養老若クハ遺族ノ爲メニ一定金額ヲ豫期スルコトヲ得ヘク又生命保險ニ於ケル強制貯蓄ノ意義ヲ沒却セス却テ勞働者ノ貯蓄心全部ヲ利用シテ漸次ニ保險金額ヲ増加セシメ得レバナリ然レドモ此方法ニ依リ簡易保險ノ性質上ノ欠點タル失効契約就中契約締結後短期間ニ著シク發生スル失効契約多大ノ弊ヲ防遏セントスル點ニ於テ普通ノ簡易保險ト幾許ノ差異アルベキヤ疑ザルヲ得ス唯簡易保險事業ニ對スル改良意見トシテ勿論價值アリト雖モ所謂失効契約ノ防禦ニ關シテ改良アリタルモノトハ稱ス

ル能ハザルベシ

八 國立人民保險局設立說

此說ハハンス、コール氏ノ主唱スル所ニシテ人民保險ハ私營組織ニ於ケルト同一ノ方法ニ依リ且ツ強制スルコトナクシテ國家ガ自ラ事業ノ主體トシテ之レヲ營ムベキモノナリトノ說ナリ此說ノ長所ハ國家ノ信用ニ依リ著シク事業ヲ擴張シ契約ヲ増加セシムルコトヲ得ベク又郵便局ト連絡スルニ依リテ事務費ヲ容易ニ節約スルコトヲ得ベシト云フニアリ然シテ此說ニ反對スルモノハ元來保險ノ短處トスベキハ代理店ノ欠缺ニアリ代理店ハ事業ノ發展ニ最も必要ナル機關ニシテ保險事業ハ之レヲ強制スルカ若クハ代理店組織ニ依ルニアラザレバ成功スル能ハザルコトハ各國ノ事實ニ照シテ明ナルコトナリ然ルニ此說ハ任意ニ契約ヲ締結セシメントスルモノノミナラズ官業組織ノ常トシテ代理店ニ關スル設備不十分ナルベキヲ以テ假令國家ノ信用ヲ基礎トスルモ到底事業ノ發展ヲ望ムベカラズ殊ニ獨逸ニ於ケル改良意見トシテ一層不都合ナリ何トナレバ獨逸ニアリテハ既ニ幾多ノ私立人民保險會社アリ然シテ此私營組織ガ到底改良ノ餘地ナシトスレバ或ハ官業組織トナスモ可ナルベシト雖今日ノ狀況ニアリテ決シテ斯ノ如キ斷定ヲ爲シ得ルモノニアラズ故ニ既ニ成立セル私營組織ヲ強ヒテ廢滅セシメテ之レニ代ヘテ官業組織ヲ創始スル必要ナシト主張スルナリ

二 私立會社共同經營說

此說ハ獨逸ニ於ケル各人民保險會社ヲ糾合シテ一ノ團體ヲ作り此團體ニ依リテ人民保險事業ヲ經營セシメントスルモノナリ然シテ獨逸ニ於ケル實情ニ照シ其實行方法ニ付キ種々ナル議論ヲ爲セルヲ見ル即チ此聯合團體ハ單ニ組合ニ止メズ株式會社若クハ相互會社ト爲シ現在ノ各保險會社ヲ以テ其分子ト爲シ共同會社及各會社ハ互ニ被保險者ニ對シ連帶責任ヲ負フベシト爲ス等詳細ナル議論アレドモ今爰ニ之レヲ詳述スルノ要ナカルベシ唯此論者ガ自說ノ長所トシテ列舉スル所ヲ示セバ大畧左ノ如シ

此共同經營ノ方法ニ依ルトキハ普通ノ人民保險事業ニ於ケル重ナル欠點ヲ救濟若シカハ少クトモ之レヲ輕減セシムルコトヲ得ヘシ先ヅ共同經營ノ利益ハ保險料ヲ低廉ナラシムル點ニアリ元來簡易保險ニアリテ純保險料ノ高價ナルガ爲メ其營業保險料ガ普通保險ニ於ケルヨリ高價ナルハ事業ノ性質上止ムヲ得ザル所ナリ然ルニ共同經營ノ方法ニ依ルトキハ集金計算記帳其他一般ノ營業費ヲ大ニ節約スルコトヲ得ベク又其團體ノ信用ハ甚大ニシテ且ツ獨占的小ナルヲ以テ競争ヲ杜絶シ契約ノ募集ヲ著シク容易ナラシムルコトヲ得ベシ從テ自ラ保險料ヲ廉價ニシテ之レヲ經營シ得ルコトナルナリ次ニハ共同經營ノ方法ニ依リテ契約ノ失効ヲ防遏シ若クハ其數ヲ減少セシムルコトヲ得ベシ蓋シ從來失効契約多大ノ原因ハ一ハ各

會社競争ノ結果保險契約高チ増加スルニ急ナルガ爲メ保險料支拂能力ノ不十分ナル保險契約者ト契約ヲ締結スルモノ多カリシニヨル然ルニ共同經營ノ曉ニ於テハ競争者ナキヲ以テ其聯合團體ハ安心シテ支拂能力十分ナル保險契約者ヲ選擇スルコトヲ得ベキリ又失効契約ノ他ノ原因ハ不徳ナル代理店ガ濫リニ保險契約者ノ契約ヲ締結シタル會社ノ信用ヲ毀損シ之ヲ嫌厭セシメ他ノ會社ニ移ラシムルノ惡弊アリタルニ因ル然ルニ共同經營ガ實行セラルトキハ其事業ハ獨占的ナルヲ以テ此弊害ヲ杜絶スルコトヲ得ベシ其他共同經營ニ依リ大組織ノ事業ヲ行フトキハ保險料集金ノ方法ノ如キモ完全ニ行ハルルヲ以テ自ラ失効契約ノ發生ヲ防遏シ得ベシ即チ此共同經營說ノ主眼トスルトコロハ之レニ依リテ簡易保險事業ノ性質上ノ弱點タル保險料ノ高價及失効契約ノ多大ノ二件ニ關シ改良ヲ加ヘ得ベシトナスモノナリ

然シテ今此共同經營說ニ對シ強チ評論ヲナサザルベシ其所說ガ果シテ豫期ノ効果ヲ生スベキヤ否ヤ暫ク之レヲ措キ唯此說ノ主張セラルル獨逸ニアリテハ今日ノ狀況ニ於テ簡易生命保險事業ハ殆ンド全ク集中セラレタルノ事實ヲ注意セザルベカラズ即チ獨逸ニ於テ人民保險事業ヲ營ム會社ハ千九百四年ニ於テ十七會社アルニモ拘ラズ其保險契約總額ノ中契約件數ニ於テ百分ノ八十九、四契約金額ニ於テ百分ノ八十八、六ガヴィクトリヤ及フリードリヒウキルヘルムノ二大會社ニ集中シ居ル「第九章外國ニ於ケル簡易生命保險事業ノ集中」ノ項ニ詳述シタルガ如シ故ニ此說ノ所謂共同經營ノ結果ハ殆ンド此二會社ノ聯合ナリト云フモ強チ不當ニアラザルベシ然シテ僅ニ二會社ノ聯合ガ前記共同經營說ガ唱フル如ク今日ニ於ケルヨリ著シク其好ナル結果ヲ齎スベシトハ容易ニ信ズル能ザルベシ唯他ノ十五會社ノ事業改良意見トシテハ有効ナルベキハ勿論ナリ是レ單ニ獨逸ニ於ケル事實ニ基キ一片ノ批評ヲ爲シタルモノナレドモ未ダ簡易生命保險事業ニ關シ何等ノ施設ナキ場合ニ於テ之レヨリ之レヲ開始セントスル時ニ當リテハ此共同經營ガ重要ナル參考トナルベキハ敢テ言フ俟タザルベシ